

筑波大学附属桐が丘特別支援学校
第46回 肢体不自由教育研究協議会
文部科学省 特別支援教育に関する実践研究充実事業

中学部・作業学習における
「感覚と運動の高次化理論」を活用した
授業改善の試み

平成30年2月1日(木)～2日(金)

北海道真駒内養護学校 教諭 小倉 靖範

本日の内容

- 本校における教育課程改善の取組
(カリキュラム・マネジメント真駒内Version)
- 中学部・作業学習における授業づくり
- 「桐が丘L字型構造」と「感覚と運動の高次化理論」の活用(まとめ)

その1

北海道真駒内養護学校における 教育課程改善の取組

平成29年度

北海道真駒内養護学校 実践研究

【研究主題】

社会とのつながりを大切にした
教育課程を目指して

～日々の授業と教育課程の改善を
つなげるための仕組みをつくる～

研究背景

教育課程に関わる課題

- 学部間の教育課程の接続(連続性と独自性)
- 授業と教育課程改善のつながりの希薄さ

学校経営上の課題

- 協働する組織の基盤をつくる(チーム真駒内)

社会的背景

- 社会変化への対応
- 新学習指導要領

課題の解決に向けて...

「カリキュラム・マネジメント」の構築へ

